

先導チャレンジャー①

阿部雅龍さん（プロ冒険家・夢を追う男）

【タイトル】

冒険家がインタビューするって面白くないですか？

●冒険家になったきっかけの好奇心は何ですか？

今思えば、小学生のころ冒険家の本を読んで「この人たち、すげーカッコイイな」と思ったのがきっかけでした。大学生になって就職活動をする中で、自分が人生で何をやりたいのか考えた時、その本のことを思い出したんですよね。それですぐ就職活動をやめて、日本を代表する冒険家（今の恩師）に手紙を書いて。「あなたのような冒険家になりたいです。何でもするの弟子入りさせてください！」って。そうしたら、彼が山形県の山奥でやっている自然学校とか冒険学校があるのですが、そこにスタッフとして置いてもらえることになったんです。

でも本当は、冒険家になることが目的じゃなくてね。恩師のような人に、本で読んだ冒険家のような人になりたかった。自分の行動で誰かの心に火をともしせるような人間になりたいと思ったんです。

実は僕ね、小さい頃、人の目を見て話せなかったし、いじめられっ子だったんですよ。今はそう見えないでしょ（笑）？ 大学生のときも、自分の意見が言えなくて人に合わせてばかりで。そんな自分が嫌いでね。いつか僕も憧れの人間になりたいと思っていて。なりたい大人になるための手段が冒険家だったんですね。

だから、もともとアウトドア大好き人間ではないからプライベートでキャンプとか全然行かない。こんなこと言っちゃいけないのかもしれないけれど（笑）。

●冒険家になって初めて気づいたこと、気づけたこと

冒険家の人生って、めちゃくちゃ地味です（笑）。僕の場合、20代の頃はスポンサーさんなんてついていませんから、ただひたすら働いていました。そして、節約しまくって貯めたお金で冒険に出て、辛い思いをして、スッカラカンで帰ってくるというね。もう謎のサイクルでしかありません（笑）。

プロになっても冒険家が案外地味なことには変わりはありませんでしたね。衝撃的だったのは、冒険家とは一見あまり関係のなさそうな事務能力が、実はとても大切だということでした。例えば、企画書の作り方、講演会のさばき方、メディアへのプレスリリースのかけ方とか。すべて恩師から教わったスキルですが、冒険の仕方を教わるより大事だったと思うほど。

冒険家に求められる能力があまりに多いことにもびっくり。事務能力に加えて、体力はもちろん、語学力、行動力、自然に対するあらゆる知識、スポンサーさんに対するプレゼン能力、ずっと僕が苦手だった人とのコミュニケーション能力まで求められて。

でも実際のところ、世界の辺境の地では、その土地の人や、そこを熟知している人など多くの人たちに応援してもらわないと、冒険なんてできないんですよね。例えば、北極の場合。氷の状況をハンターに聞いたりするのですが、情報を教えてもらうには、相手に心を許してもらえるような、さらには応援してもらえるくらいになれるコミュニケーション能力が必要なんです。

### ●「インタビュー」にチャレンジします！

一番に思いついたのが「ヌンチャクでコーラの栓を抜けるようになる！」だったのですが、それはまた次回にとっておくことにして(笑)、今回は、僕が今気になっている人たちへのインタビューにチャレンジしてみたいと思います。今まで、取材でインタビューを受けることはあっても、する側になったことはないんですよね。だから前からやってみたいと思っていて。普通はインタビューされる側の冒険家が、インタビューする側って、なかなかないし、面白くないですか(笑)？

インタビューにチャレンジって、誰にでもできそうだし、もしかしたら簡単なことかもしれないけれど、僕にとっては、コミュニケーション能力のアップ、つまり冒険家としてのステップアップにもつながる、今までしたことのない新しいチャレンジ！今からわくわくしています。皆さんもぜひ、僕と一緒に何か新しいことにチャレンジしてみませんか。初めての挑戦なんだから、失敗しても当然だし、初めてやることだから面白い！難しく考える必要なんて全くありません。どんな簡単な挑戦でも、この100日間はきっと素晴らしい経験になるはずだし、やりたい自分、やりたいことができる自分への大きな第一歩になるはずですよ。